

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2019-89857 (P2019-89857A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-022
 【出願番号】特願 2019-53684 (P2019-53684)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/41

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 6 日 (2021.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成分 (X) として、2 - アミノ - 2 - ヒドロキシメチル - 1, 3 - プロパンジオール (X 1)、2 - アミノ - 2 - メチル - 1 - プロパノール (X 2)、及び 2 - アミノ - 2 - メチル - 1, 3 - プロパンジオール (X 3) から選ばれる 1 種を単独で含有し、成分 (B) として、HLB 11 以上の非イオン性界面活性剤 (B 1) 及び / 又は HLB 11 未満の非イオン性界面活性剤 (B 2) を含有し、かつ 25 における pH が 9.0 以上 12.5 以下である組成物

を用いて角栓を除去する方法。

【請求項 2】

成分 (X) として、2 - アミノ - 2 - ヒドロキシメチル - 1, 3 - プロパンジオール (X 1)、2 - アミノ - 2 - メチル - 1 - プロパノール (X 2)、及び 2 - アミノ - 2 - メチル - 1, 3 - プロパンジオール (X 3) から選ばれる 2 種又は 3 種を含有し、成分 (B) として、HLB 11 以上の非イオン性界面活性剤 (B 1) 及び / 又は HLB 11 未満の非イオン性界面活性剤 (B 2) を含有し、かつ 25 における pH が 9.0 以上 12.5 以下である組成物

を用いて角栓を除去する方法。

【請求項 3】

組成物中における成分 (X) の含有量が、0.08 質量 % 以上 35 質量 % 以下である請求項 1 又は 2 に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 4】

成分 (B) の含有量が、0.1 質量 % 以上 30 質量 % 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 5】

成分 (X) の含有量と成分 (B) の含有量との質量比 ((X) / (B)) が、0.01 以上 50 以下である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 6】

成分 (B 1) の含有量と成分 (B 2) の含有量との質量比 ((B 1) / (B 2)) が、0 . 1 以上 2 5 以下である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 7】

組成物が、さらに成分 (X) 以外の塩基性物質 (Y) を含有する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 8】

成分 (Y) が、アルギニン、モノエタノールアミン、トリエタノールアミン及びモルホリンから選ばれる 1 種又は 2 種以上を含む請求項 7 に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 9】

組成物中における成分 (Y) の含有量が、0 . 0 1 質量 % 以上 1 5 質量 % 以下である請求項 7 又は 8 に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 10】

組成物中における成分 (X) 及び成分 (Y) の合計含有量が、0 . 0 9 質量 % 以上 5 0 質量 % 以下である請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 11】

成分 (Y) の含有量と成分 (X) の含有量との質量比 ((X) / (Y)) が、0 . 0 0 1 以上 2 0 0 以下である請求項 7 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 12】

組成物が、さらに水を 1 0 質量 % 以上 9 9 . 9 質量 % 以下含有する請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 13】

組成物が、さらにアニオン性界面活性剤 (A) を含有する請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の角栓を除去する方法。

【請求項 14】

成分 (X) として、2 - アミノ - 2 - ヒドロキシメチル - 1 , 3 - プロパンジオール (X 1) 、2 - アミノ - 2 - メチル - 1 - プロパノール (X 2) 、及び 2 - アミノ - 2 - メチル - 1 , 3 - プロパンジオール (X 3) から選ばれる 1 種を単独で含有し、成分 (B) として、HLB 1 1 以上の非イオン性界面活性剤 (B 1) 及び / 又は HLB 1 1 未満の非イオン性界面活性剤 (B 2) を含有し、かつ 2 5 における pH が 9 . 0 以上 1 2 . 5 以下である角栓除去用組成物。

【請求項 15】

成分 (X) として、2 - アミノ - 2 - ヒドロキシメチル - 1 , 3 - プロパンジオール (X 1) 、2 - アミノ - 2 - メチル - 1 - プロパノール (X 2) 、及び 2 - アミノ - 2 - メチル - 1 , 3 - プロパンジオール (X 3) から選ばれる 2 種又は 3 種を含有し、成分 (B) として、HLB 1 1 以上の非イオン性界面活性剤 (B 1) 及び / 又は HLB 1 1 未満の非イオン性界面活性剤 (B 2) を含有し、かつ 2 5 における pH が 9 . 0 以上 1 2 . 5 以下である角栓除去用組成物。

【請求項 16】

成分 (B) の含有量が、0 . 1 質量 % 以上 3 0 質量 % 以下である請求項 1 4 又は 1 5 に記載の角栓除去用組成物。

【請求項 17】

成分 (X) の含有量と成分 (B) の含有量との質量比 ((X) / (B)) が、0 . 0 1 以上 5 0 以下である請求項 1 4 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の角栓除去用組成物。

【請求項 18】

成分 (B 1) の含有量と成分 (B 2) の含有量との質量比 ((B 1) / (B 2)) が、0 . 1 以上 2 5 以下である請求項 1 4 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載の角栓除去用組成物。